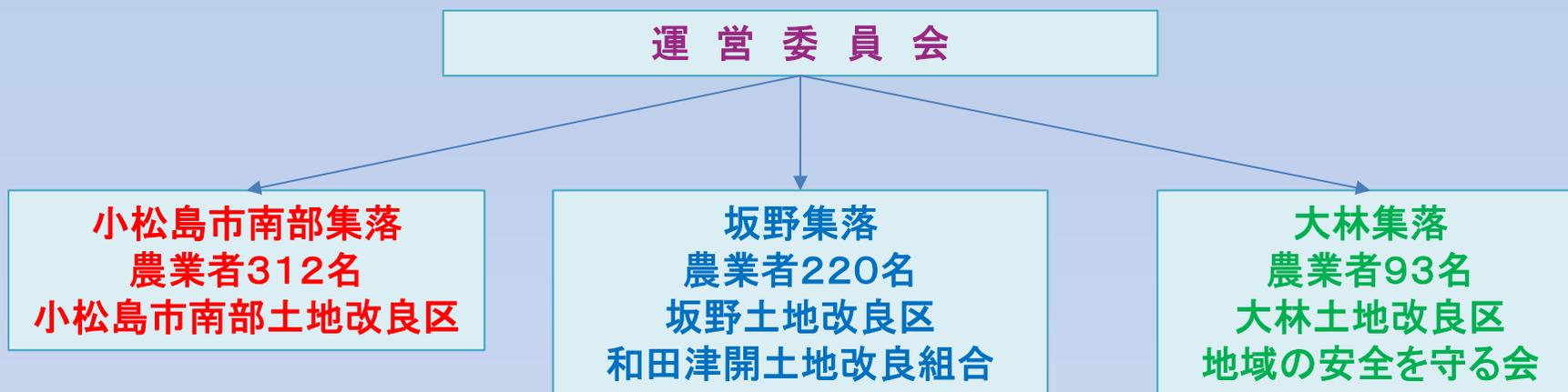


組織の広域化について



**小松島南部地区
農地・水・環境保全組織**

小松島南部地区農地・水・環境保全 組織の構成

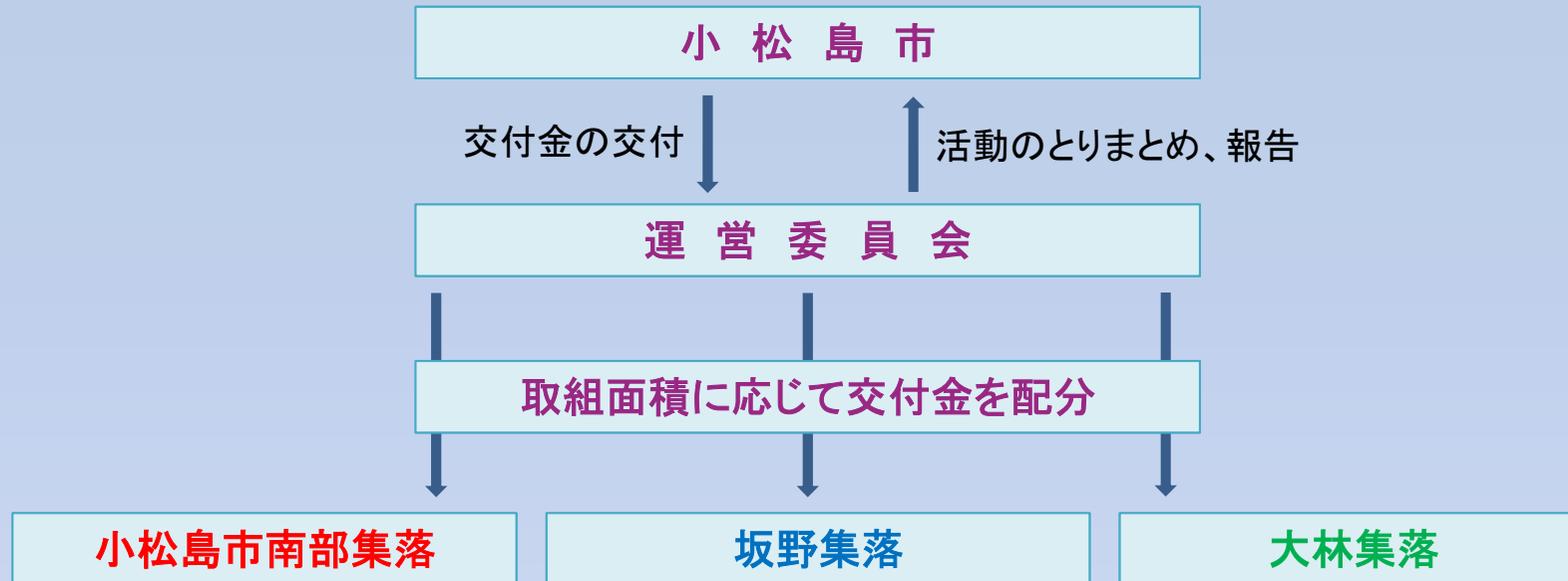


小松島南部地区は、那賀川北岸用水を利用している3地区が、組合員も重複していることから、共同で活動し、より広範囲な資源や環境を守ろうと取り組んでいる組織です。

3地区は、それぞれに特徴があり、**小松島市南部集落**は県営ほ場整備を実施し、127haほどの優良農地の保全管理をしています。

坂野集落は、昭和26年に坂野土地改良区が設立され、老朽化した施設の維持・管理に苦慮しています。**大林集落**は、近年農地転用が増え、混住化が加速されつつある地区です。

組織の事務の流れ(長寿命化以外)



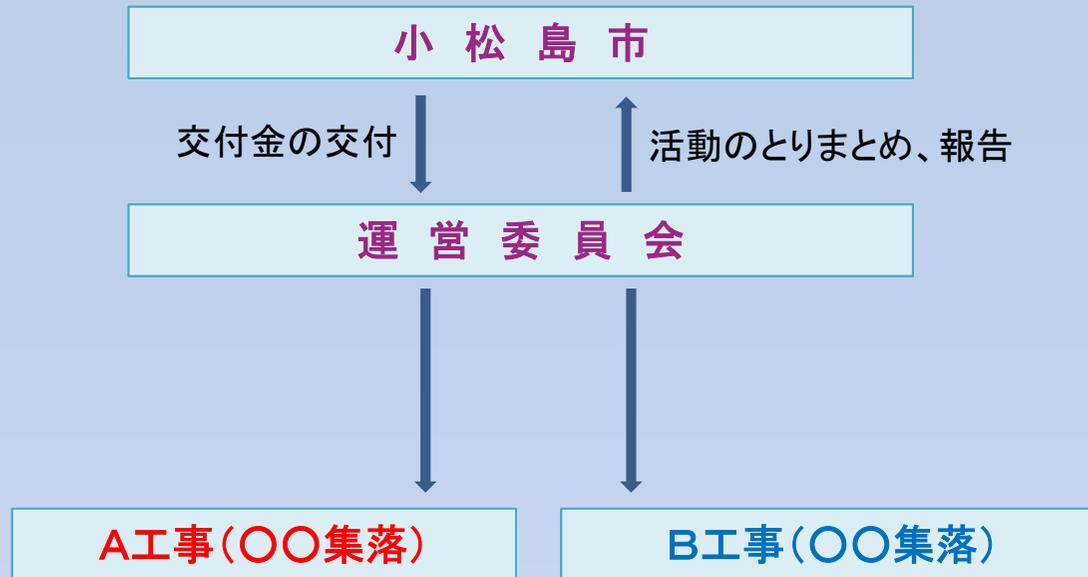
各地区で年度計画を策定し、活動を行っています。各地区に会計担当者がおり、通帳を管理し、出納簿を整理しています。

ただし、農村環境保全活動については、坂野集落と大林集落で実施しており、余分に予算配分する等、毎年運営委員会で話し合い、計画しています。

農村環境保全活動を全地区で実施する必要がないこと、交付事務や活動報告事務を運営委員会が引き受けることで、地区の負担が軽減されています。

活動については、各地区に配分された交付金で、地区の実情に合わせた自由な活動ができます。

組織の事務の流れ(長寿命化)



基本的に取り組面積に応じた予算配分をしますが、その年度に実施する工事が数年にまたがったりしないよう、地区同士で融通を利かせています。

5年間に実施する工事が、効率よく安価で実施できるように、運営委員会を中心に話し合いを行います。全ての工事に運営委員会が立ち会い、広域組織として活動を行っています。

長寿命化以外の活動は、各地区の責任で行い、長寿命化の活動は運営委員会
が調整し実施しています。

広域組織のメリット

- ・交付申請や実績報告等を運営委員会がまとめて行うことで、各地区の事務負担を軽減できる。
- ・農村環境保全活動を広域全体で計画し実施できるため、各地区の負担を軽減できる。
- ・長寿命化の工事を広域全体で計画し実施できるため、効率の良い安価な工事発注ができる。
- ・隣接区域と情報交換ができることで、より広範囲での交流活動が行える。